

中国語	1～4年・前期	1単位	教授 星野 為國
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31320201

1. 授業のねらい・概要

中国語は国連の常任理事国が使用する言語の一つである。さらに、中国は日本と一衣帯水の隣国でもある。外交面のみならず、経済の側面においても両国は互助的な関係にある。中国語を話せる人材を養成することは急務であると思われる。そこで会話教学の不足を補うために、授業は会話力をつけることを狙いとする。

2. 学修の到達目標

簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。

3. 授業の進め方

まず中国語の発音記号を正確に発音できるように指導し、中国語の漢字の四声（アクセント）を修得させる。

4. 授業計画（講義）

1. 声母（子音）の発音練習	9. 住所をたずねる
2. 韻母（母音）の発音練習	10. 職業をたずねる
3. 声調の発音練習	11. 日常のあいさつ
4. 軽声と儿化韻の練習	12. 時間をたずねる
5. 姓名をたずねる	13. 道をたずねる
6. 関係をたずねる	14. 経験をたずねる
7. 年齢をたずねる	15. 前期総括
8. 出身地をたずねる	

5. 成績評価の方法・基準

前期末試験の成績に基づいて評価する。

6. テキスト・参考文献

担当者自作の教材をテキストにする。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の該当箇所にて、予習と復習をそれぞれ30分ほどすること。

8. 受講上の留意事項

教材の中の会話文を可能な限り話せるようになること。平素中国に関することに関心を抱くこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の答案用紙を後日学生が自分のものを見ることができる。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。